






- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等への危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

### 安全に関する記号 記号の意味

-  **警告** ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
-  **注意** ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

### 一般情報に関する記号

-  **ポイント**
  - 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
  - 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
-  **※**
  - 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
  - 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
-  **補足** ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

## <施工の前に>

### 警告

- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。特に崖上や高台など、転落してケガをするおそれがある場所へは施工しないでください。

### 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 指定寸法は必ず守ってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

## <施工上のご注意>

### 注意

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など性能が低下する場合があります。
- 湿気が多い場所やコンクリート基礎内でアルミ製品が鉄やステンレス・銅などと接触する場合は、腐食が進行するおそれがありますので絶縁テープか塗装で、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。



## <基礎工事について>

### ⚠ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決まっていますが、現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

## ■梱包明細表

### 【1】間仕切柱 T10 セット

名 称	略 図	員 数
間仕切柱 T-10 (Aタイプ)		1
間仕切柱 T-10 (Bタイプ)		1
取付説明書 (C360)	—	1
取扱説明書 (UC009)	—	1




※中間柱・端部柱・コーナー柱共に、同じ間仕切柱を使用します。  
使用箇所により取付部品使用数、現場加工が異なります。

### 【2】間仕切柱 T12、T14 セット

名 称	略 図	員 数
間仕切柱 T-12 (Aタイプ)		1
間仕切柱 T-14 (Aタイプ)		1
取付説明書 (C360)	—	1
取扱説明書 (UC009)	—	1

※中間柱・端部柱・コーナー柱共に、同じ間仕切柱を使用します。  
使用箇所により取付部品使用数、現場加工が異なります。

### 【3】間仕切柱キャップセット

名 称	略 図	員 数	
		標準	ギボシ
柱キャップ (標準)		1	—
柱キャップ (ギボシ)		—	1
【3-1】 M4×10特サラ小ネジ (D=6)		2	2

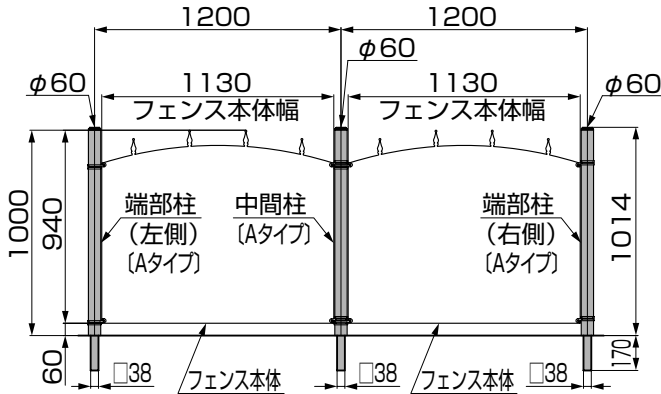
### 【4】間仕切柱取付部品セット

名 称	略 図	員 数			
		T10・T12		T14	
		端部用	中間用	端部用	中間用
フェンス取付金具		2	4	2	4
フェンス装飾金具		—	—	2	4
注意シール		1	—	1	—
【4-1】 M5×30ナベ小ネジ		2	4	4	8
【4-2】 M5平座金		4	8	8	16
【4-3】 M5バネ座金		2	4	4	8
【4-4】 M5六角袋ナット		2	4	4	8
【4-5】 φ4×12トラスタッピンネジ1種		2	4	2	4

# 1. 基本寸法と各部名称

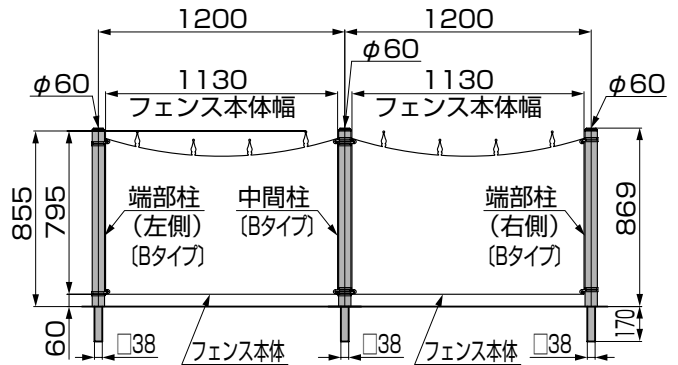
## 1-1 A型・C型フェンス

※図は、A型フェンスを示します。  
 ※図中の中間柱と端部柱は、間仕切柱T-10〔Aタイプ〕を使用します。



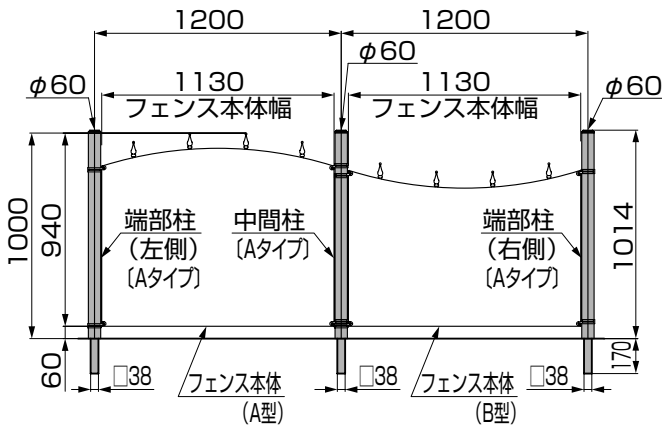
## 1-2 B型フェンス

※図中の中間柱と端部柱は、間仕切柱T-10〔Bタイプ〕を使用します。



## 1-3 A型・B型フェンス連結

※図中の中間柱と端部柱は、間仕切柱T-10〔Aタイプ〕を使用します。



## 1-4 高尺フェンス (C型のみ)

※図はT-12を示します。  
 ※図中の中間柱と端部柱は、間仕切柱T-12〔Aタイプ〕または間仕切柱T-14〔Aタイプ〕を使用します。

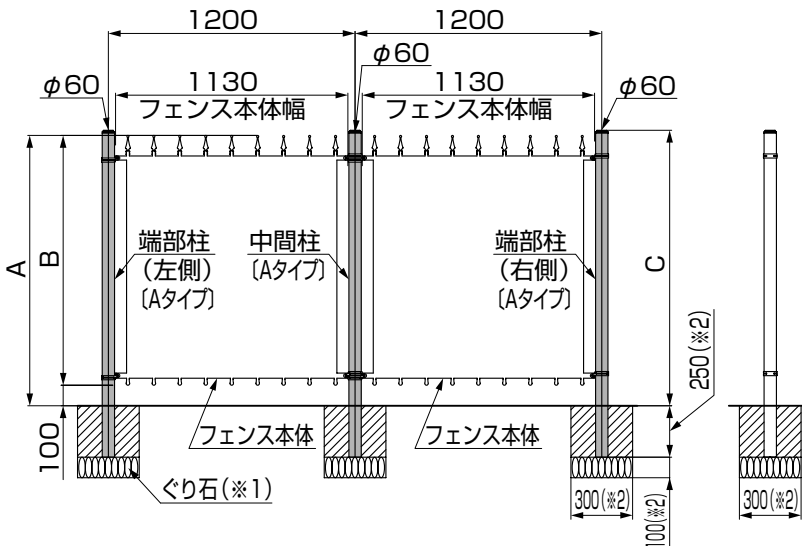


表1-1

呼称	A	B	C
T-12	1315	1215	1323
T-14	1515	1415	1523

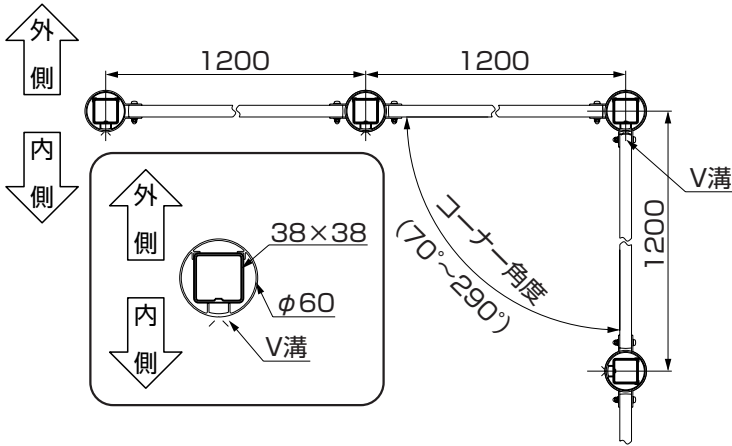
### 補足

- 柱の基礎は、基礎下に100mm厚のぐり石を施工等で水が抜ける構造にしてください。(※1)
- 基礎寸法は指定寸法以上にしてください。(※2)

# 1. (つづき)

## 1-5 施工例

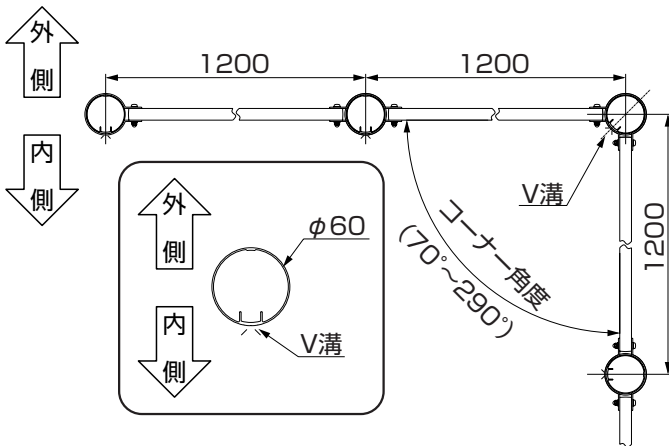
### (1) ブロック施工 (T-10)



#### ポイント

- コーナー部の柱はフェンスの通り方向がV溝になるように施工してください。

### (2) 独立施工 (T-12,14)



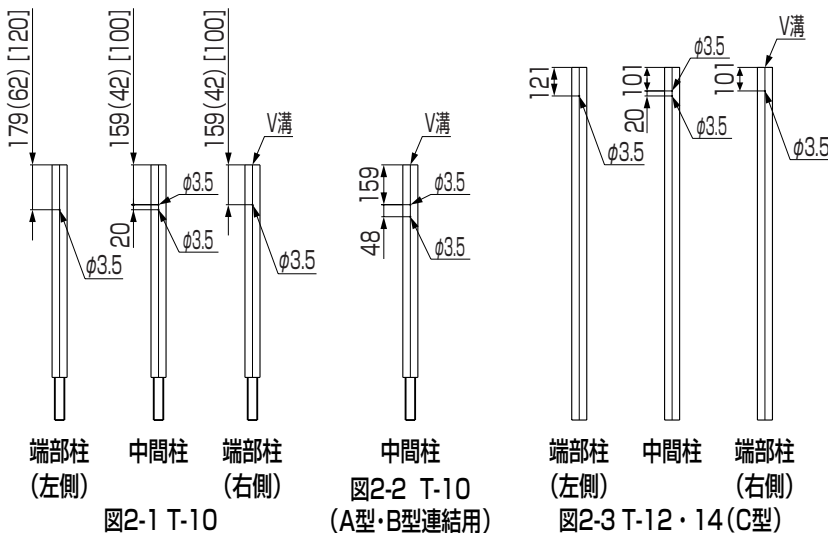
#### ポイント

- コーナー部の柱はコーナー角度の中央にV溝が位置するように施工してください。

## 2. 柱の施工

### 2-1 「フェンス取付金具」固定穴(中間柱・端部柱)

※図は、A型フェンスを示します。( )内寸法はB型フェンス、[ ]内寸法はC型フェンスの場合を示します。



- ① 柱のV溝側(内側)にドリルでφ3.5の穴をあけてください。  
(図2-1、図2-2、図2-3参照)

#### ポイント

- 柱の形状は「1-5 施工例」を参照してください。
- 中間柱・端部柱・コーナー柱共に同じ柱を使用します。
- 柱の固定穴加工は上部のフェンス取付金具用のみです。

## 2-2 「フェンス取付金具」固定穴(コーナー柱)

※図は、A型フェンスを示します。( )内寸法はB型フェンス、[ ]内寸法はC型フェンスの場合を示します。

表2-1

対応角度	
最小角度	最大角度

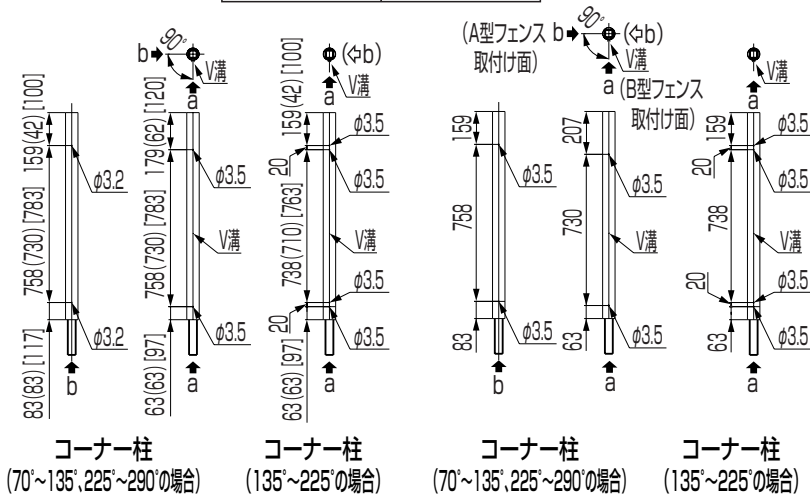


図2-4 T-10

図2-5 T-10 (A型・B型連結用)

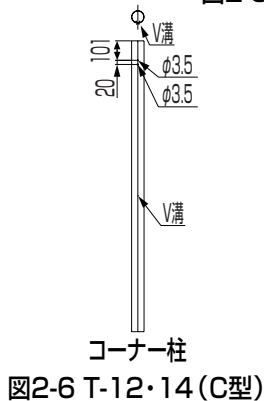


図2-6 T-12・14 (C型)

## 2-3 柱の埋込み

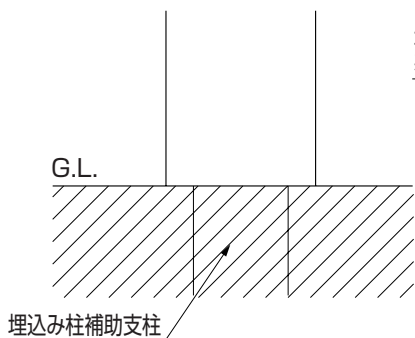


図2-7 T-10 (A型・B型・C型)

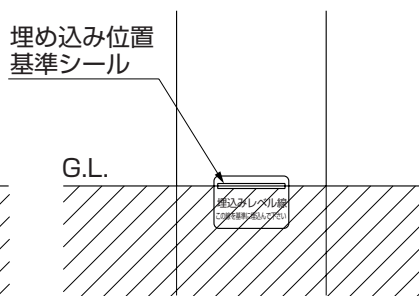


図2-8 T-12,14 (C型)

①コーナーの角度を決めてください。

### ポイント

●コーナーの対応角度は70°~290°です。

②コーナー柱に、コーナー角度に合わせてドリルでφ3.5(およびφ3.2)の穴をあけてください。

### ポイント

- T-10コーナー柱については、柱上・下部に固定穴をあけてください。(図2-4、図2-5参照)
- T-10コーナー柱のb固定穴については、φ3.2の穴をあけてください。(図2-4、図2-5参照)

### 注意

●柱の埋込み時には水抜き穴を塞がないように施工してください。  
柱の腐食や溜まった水の凍結膨張による柱損傷により、強度低下につながります。

①各柱を「1.基本寸法」にしたがって、モルタルで固定してください。

### ポイント

●柱は垂直を出してから固定してください。  
垂直が出ないとフェンス本体が取付かないおそれがあります。

### 3. 柱と本体の取付け

※図はA型を示します。B型・C型も同様の作業です。

※T-14については図3-6を参照してください。

#### 3-1 中間柱・端部柱の場合

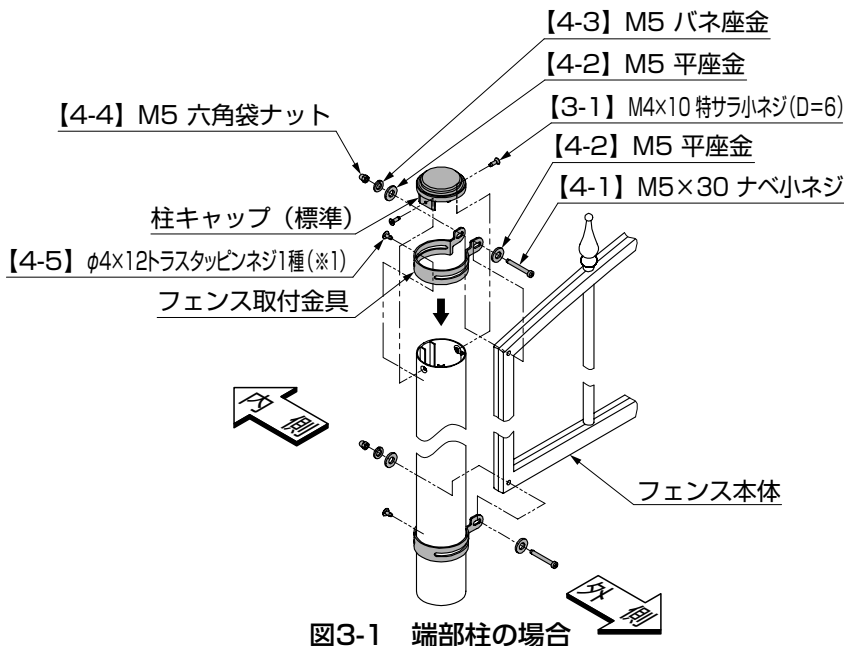


図3-1 端部柱の場合

- ① 柱に必要な数のフェンス取付金具を差込んでください。  
(図3-1、図3-2参照)
- ② 柱上部にフェンス取付金具を固定してください。(※1)  
(図3-1、図3-2参照)

#### ポイント

- 金具の向きに注意して取付けてください。  
(図3-3参照)
- フェンス取付金具で柱を傷つけないようにしてください。
- 柱上部に取付けるフェンス取付金具は「2.柱の施工」であけた穴に固定してください。(※1)

- ③ フェンス本体をフェンス取付金具で固定してください。  
(図3-1、図3-2参照)
- ④ 柱キャップを取付けてください。  
(図3-1、図3-2参照)

#### 補足

- 柱キャップ(ギボシ) **オプション** を取付ける場合は、柱キャップ(標準)と替えてください。
- フェンス本体を柱に仮組みする場合には、フェンス本体の上部とフェンス取付金具にクギなどを通し、その状態で正規ネジを固定してください。  
(図3-4参照)

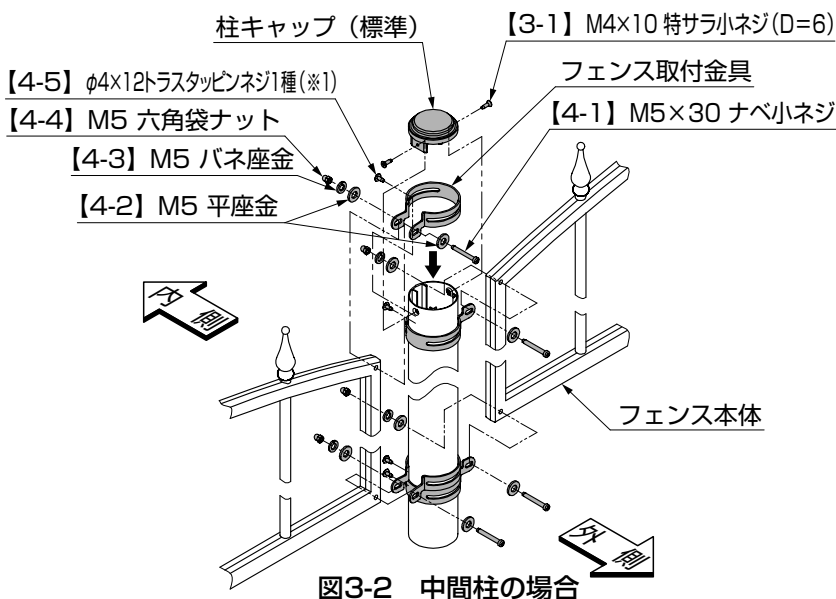


図3-2 中間柱の場合

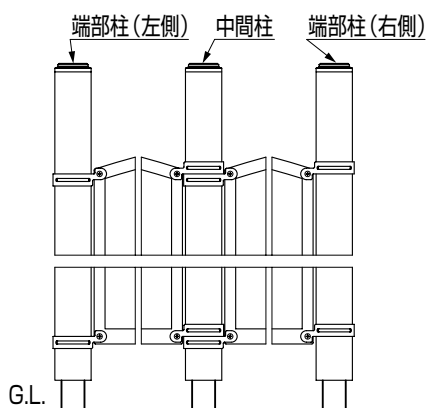


図3-3 金具取付方向

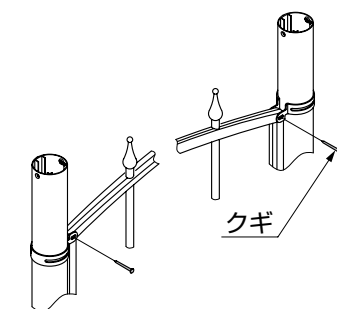


図3-4 フェンス本体の仮止め

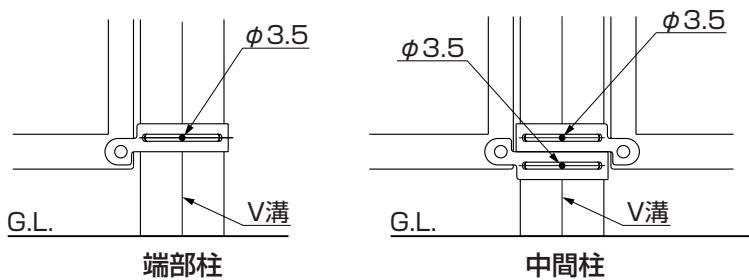


図3-4 穴あけ加工

⑤柱のV溝側（内側）にドリルでφ3.5の穴をあけてください。（図3-4参照）

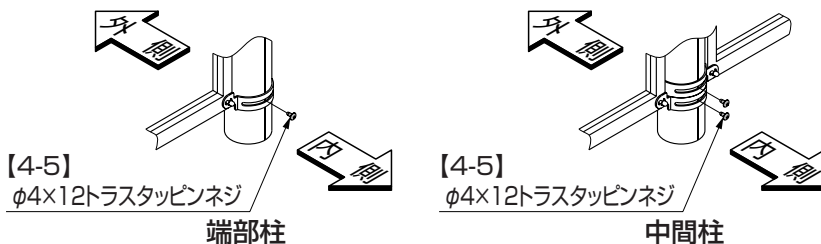


図3-5 フェンス取付金具固定

⑥フェンス取付金具を固定してください。（図3-5参照）

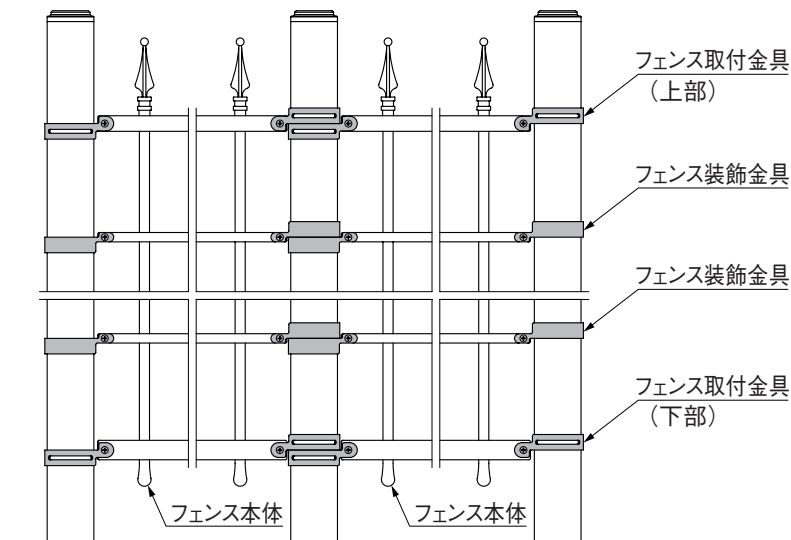


図3-6 金具取付方向

**ポイント**

- T-14の場合にはフェンス装飾金具を取付けてください。（図3-6参照）
- フェンス装飾金具で、柱を傷つけないようにしてください。（図3-6参照）
- フェンス装飾金具もフェンス取付金具と同様のフェンス本体の取付け方となります。（図3-6参照）

**3-2 コーナー柱の場合**

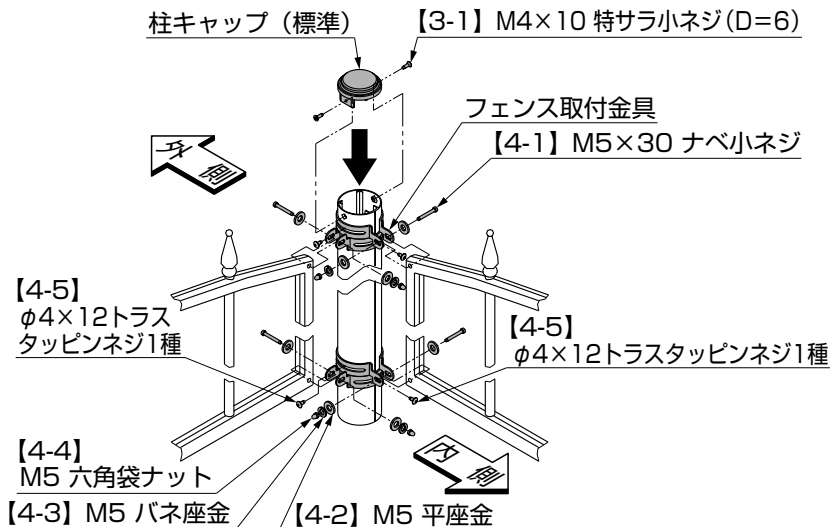


図3-7 T-10コーナー柱の場合

- ①柱に必要な数のフェンス取付金具を差込んでください。（図3-7、図3-8参照）
- ②柱にフェンス取付金具を固定してください。（図3-7、図3-9参照）

**ポイント**

- 金具の向きに注意して取付けてください。
- フェンス取付金具で柱を傷つけないようにしてください。
- T-10については、柱上・下部にフェンス取付金具を固定してください。（図3-7参照）
- 柱に取付けるフェンス取付金具は「2.柱の施工」であけた穴に固定してください。

### 3. (つづき)

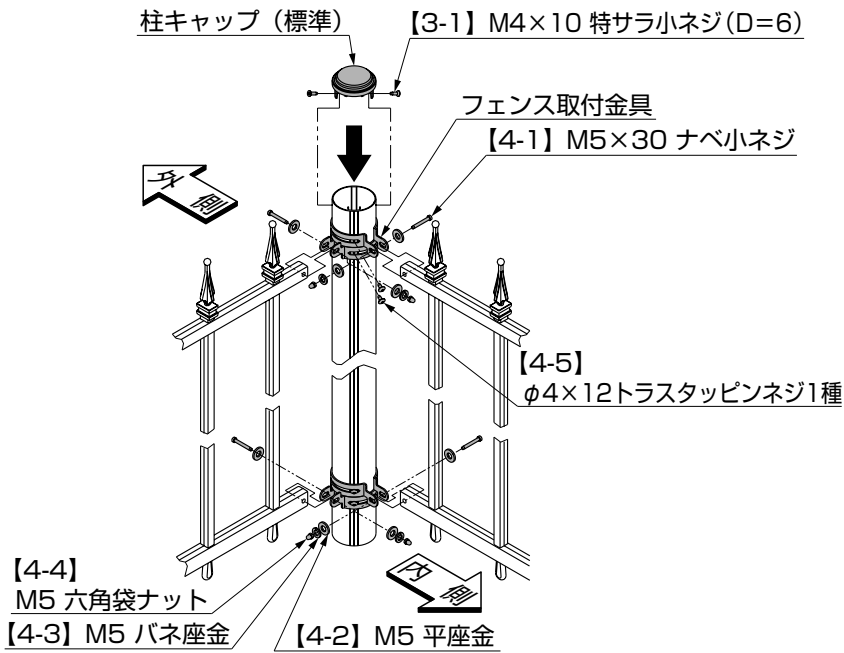


図3-8 T-12,14コーナー柱の場合

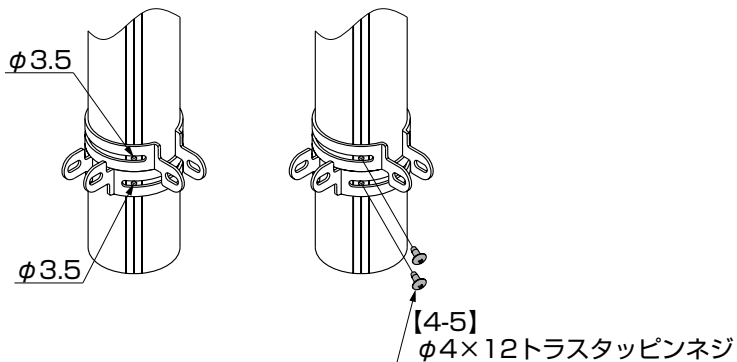


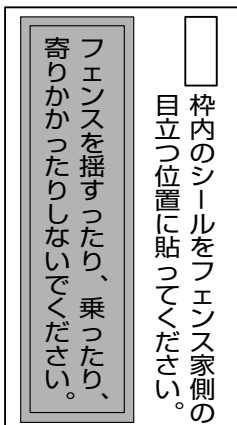
図3-9 T-12,14フェンス取付金具固定

- ③フェンス本体をフェンス取付金具で固定してください。  
(図3-7、図3-8参照)
- ④柱キャップを取付けてください。  
(図3-7、図3-8参照)

#### 補足

- 柱キャップ(ギボシ) **オプション** を取付ける場合は、柱キャップ(標準)と替えてください。
- フェンス本体を柱に仮組みする場合には、フェンス本体の上部とフェンス取付金具にクギなどを通し、その状態で正規ネジを固定してください。  
(図3-4参照)

### 4. 注意シールの貼付け



- ①必ず注意シールをフェンス本体または柱家側の目立つ位置に貼ってください。

#### 注意

- 注意シールは、施主様に安全に使用していただくために必要です。

#### 補足

- 注意シールは、間仕切柱取付部品セット端部用の梱包に入っています。

取説コード

**C360**

JZZ614333E  
200703A\_1001  
201210F\_1001